

平成29年3月1日

文化財を中核とする観光拠点形成に向けたオンライン講座の開講について

文化庁では、「明日の日本を支える観光ビジョン」において掲げられた「文化財の観光資源としての開花」を実現するため、文化財を中核とする観光拠点形成に向けた人材育成を目的とする、オンライン講座を開講しましたのでお知らせします。

1. 事業名

「文化財を中核とする観光拠点形成に向けたオンライン講座実施委託事業」

2. 開講期間

開講日時：平成29年3月1日（水）15時

（受講登録締切：平成29年3月22日（水）、閉講予定日：3月31日（金））

3. 受講の方法

本講座のウェブサイトから受講登録が必要です（無料）。詳しくは以下のウェブサイトを御覧ください。

<http://gacco.org/bunka/>

4. 講座の詳細

別紙参照

<本件担当>

文化庁 文化財部 伝統文化課

菅野，大村，田嶋

電話：03-5253-4111（内線 3159）

FAX：03-6734-3820

■「文化財を活用した観光拠点形成」講座 概要



【講座名】文化財を活用した観光拠点形成

【内容】文化財を活用した観光拠点形成のために必要な視点や体制等のポイントを分かりやすく紹介する

【第一部：文化財を中核としたまちづくり】

- 1-1：このコースの趣旨・全体像
- 1-2：基調講座：文化財を中核とした観光まちづくり戦略
- 1-3：地域の魅力を一体的に捉え「物語」とするには
- 1-4：いかにして地域をまきこみ計画を立てるか
- 1-5：文化財のマネージメント～史跡等の例を中心に～
- 1-6：歴史都市金沢のまちづくり～半世紀の歩み～
- 1-7：文化財保護と親和性の高い観光地としての仕組みづくり（1）
- 1-8：文化財保護と親和性の高い観光地としての仕組みづくり（2）

【第二部：実践・事例編】

- 2-1：文化財の保存と活用の均衡（白川村交通対策を事例として）
- 2-2：宿場町における観光客との交流～小さなムラ役場の役割～
- 2-3：ヘリテージマネージャーの育成
- 2-4：インターネット時代に文化財を中核とした観光地をどのように情報発信していくか
- 2-5：観光マーケティングの導入事例 地域の巻き込み方と商品化
- 2-6：近年の訪日外国人の動向と観光施策メニュー紹介（観光庁）
- 2-7：文化庁施策の動向と平成29年度予算について

【講師】

東京大学教授 西村幸夫

公益社団法人日本観光振興協会 総合調査研究所特別研究員 丁野朗

文化庁記念物課文化財調査官 中井将胤

金沢市歴史都市推進課主査 福塚正浩

株式会社 JTB 総合研究所主任研究員 河野まゆ子

白川村教育委員会事務局 文化財係主査 松本継太

公益財団法人 妻籠を愛する会 常務理事 藤原義則

兵庫県教育委員会事務局参事 村上裕道

株式会社博報堂 テーマビジネス開発局 シニアアカウントディレクター 大羽昭仁

イデアパートナーズ株式会社代表取締役 NPO 法人イデア九州・アジア理事長 井手修身

観光庁観光地域振興部観光資源課長 蔵持京治

【学習期間】

2週間程度（総学習時間 2.5時間）

【受講申込先】

ウェブサイト（ <http://gacco.org/bunka/> ）